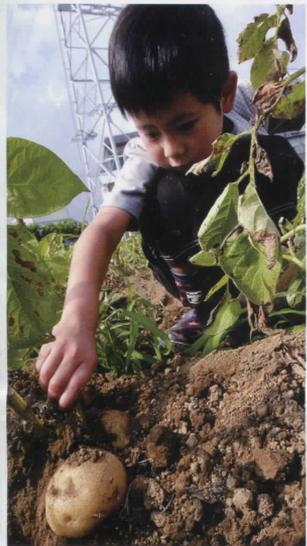


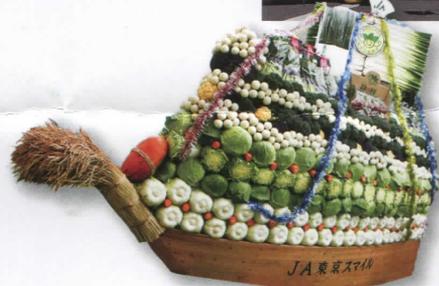
知ってるようで知らない!
葛飾の都市農業



「おいしいだけじゃない!」
農地の新・活用法



知 **農**
って **活**
こ **っ**
ま **て**
お **こ**
も **ち**
が **こ**



「いざ」というとき、畑が変わる!?



葛飾区



農活とは？



農地の新・**活**用で私たちの生活が
安全・安心になることです。

市街地及びその周辺の地域で行われる農業を“都市農業”といいます。
葛飾には、約36.5ヘクタール(東京ドーム球場の約8倍)の農地があり、
約100種類の農産物が1年を通してつくられています。
農地の新・活用は、新鮮で安全・おいしい野菜をつくるだけでなく、
みなさんの生活に、深く関わっています。

農活には、**6つの活用**があります。➡

農活
1

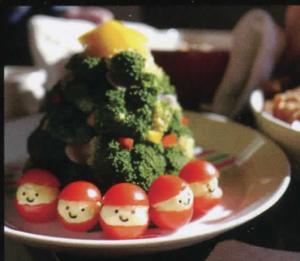
葛飾でとれたものを
葛飾でいただく



これが **地産地消** です。

地産地消のメリットは

- なにより新鮮で、おいしい。
- とても安全、農薬等の基準がしっかり守られている。
- 栄養価が高い旬の農作物が、味わえる。
- 地元の農産物を味わうことで、食や地域への関心が高まる。



農活 2

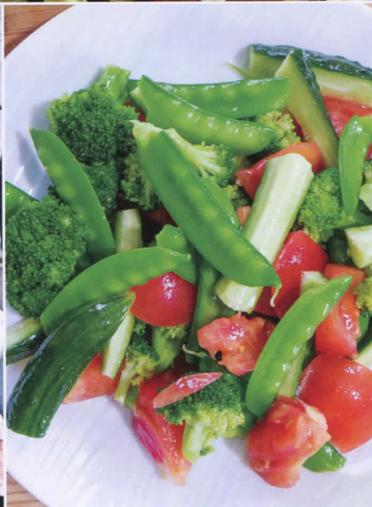
農業をつうじて 食を学び、関心を高める

子どもだけではなく、大人も **食育**

生産者などと直に触れあって、地域の食文化を理解する。
食を学び、食べ物に感謝する。
食べ物の廃棄ロスを生まない。
好き嫌いをしない。

——— 都市の農業は、食育を推進します。

いただきます！！



農活 3

地震・風水害・火事など、 災害の発生時に避難所になる

農地は都市の **防災** を助けます。



葛飾区にある「防災協力農地」には、
この看板が設置してあります。

災害時には

- 農地が、避難場所になる。
- 食料や水など、物資の優先供給がある。
- 農地が、火事や洪水を和らげてくれる。



葛飾区は、東京スマイル農業協同組合員の生産する農産物その他の物資の優先供給及び被災住民のための避難スペース等となる生産緑地等の確保を図ることにより、被災住民の生活の安定に寄与することを目的として協定を締結しています。

葛飾区では、JA東京スマイルや地域の方々の協力のもと、ビニールハウスを使用した防災訓練を行っています。



ビニールハウスを利用した訓練



防災講習会の様子



空き缶を使用した炊き出し



ビニールハウス内の様子

地面に段ボールやブルーシートなどを敷き、毛布を使用した就寝体験の実施、空き缶を使用したコンロでの炊き出しによるカレーライスづくり、防災講習会などを実施しています。

農活 4

農業イベント参加などで、地域の交流を生む。

体験農業で初めて会う人と親しくなったり、即売会で生産者や消費者同士でコミュニケーションを取ったり…交流を創出します。

葛飾区では、色々なイベントを行っています！

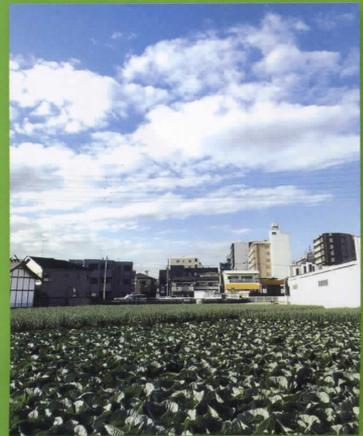
- 野菜収穫オリエンテーリング
- 農業体験農園
- ふれあいレクリエーション農園
- 野菜品評会
- ブルーベリー観光農園
- 区民農園
- 農業応援サポーター養成講座
- 小松菜一斉給食



農活 5

まちに、うるおいのある景観をつくる。

都市の中の緑の農地は、人々に安らぎを与え、心和む光景を自然に演出します。



農活 6

まちの環境を整える。

都市農地の緑地や水面がヒートアイランド現象を緩和し、まちの気温を下げて涼しい空気をつくります。

都市農地の土壌が雨などの栄養分を吸着したり分解したりすることで、川や海に栄養分が流れ込みすぎて赤潮などが発生することを防ぎます。水をきれいにします。

私たちがつくっています！
佐藤 恵一さん(46歳)

都市農業は、今追い風です。
農地の多様化で、まちに彩りが付きます。



葛飾の伝統野菜・小松菜をつくっています。収穫期になると、このハウスの中は、何とも言えない甘い香りが漂うんです。小松菜って甘いんですよ。霜が降る時期になると、一段と美味しくなります。

小松菜の品種は、200種類くらいあります。ウチでは、夏場はじっくり成長するタイプ、冬場は気温が低くても伸びるタイプをつくって、品質を保っています。

私は10代目です。農家の長男は洗脳されているんですよ(笑)。それである時、農家をやる、とスイッチが入るんです。農業を始めてもう20年になります。以前は会社員だったので、当初は、青空のもとで仕事をすることって凄いなあって、素直に感動しました。

今、JA東京スマイル葛飾営農研究会で会長をやらせてもらっています。若い人たちも少しずつ増えてきました。新しい動きとして農作物の直売所が増えてきているので、自分のお客さんが付くように、皆さん熱心に勉強しています。

都市農業については、追い風が吹いている、と感じます。バブルの頃は、こんなところ(畑)で農業なんかやるな！といった雰囲気でしたが、今は、オープンスペースがあつて、その場所は農作物をつくるだけでなく、防災にも役立ちますし、地域の交流の場になったり、皆さんの心のやすらぎにもなる。そして農業に対する理解を深めてもらう発信基地になったり…。地域と関わるのが楽しく、まちに彩りが付くように、私自身の人生にも彩りが付くと思っています。

夢の「トマト養液栽培」で、
生産増にチャレンジ!



私たちがつくっています!
齊藤 幸雄さん(40歳)

農業を始めて10年来の構想が実り、広さ880㎡の養液栽培施設が完成して、トマトの栽培を始めました。東京都地区では初めての施設です。投資もたくさんしました。

液体の肥料でトマトを育てますが、トマトにとって、最適な環境をコントロールできるので、味が良くなったり、農薬を使う頻度も少なくなったり、生産量も増え、一定の量を確保しながら1年中トマトができます。

農業を始めたのは24歳の頃で、それ以前はサーフィン業界で社員をしていますが。会社員は内勤が多く、外で働きたい

トマトの美味しい食べ方は?

トマトは日中の時間が経てば経つほど、糖分が枝のほうにまわります。だから午前中までに採っちゃいます。冷蔵庫にさえ入れなければ、その日は美味しいです。日持ちの問題はありますが、常温がいちばん美味しいです。

と思い、実家に帰って農業をはじめました。

都市農業って、農地が狭いとかデメリットもある反面、いろんな可能性を秘めていますよ。周りの農家がつくらない時期につくれる方法はないか、そう考えてトマトの養液栽培に投資したんです。誰もやらないなら、やったもん勝ちだ、と。

都市農業は魅力があります。東京で採れたものを都民が食べる、これって採れたてで新鮮、何より美味しいじゃないですか。美味いものをつくったら、確実に買ってくれるお客さんがいる。それが東京なんですよ。

私たちがつくっています!
田中 重孝さん(31歳)



都市の畑は、人々が行き交う
“交差点”でありたい。

畑で採れた野菜は、ほとんど自宅の庭先にある「田中直売所」で売っています。大根やネギ、小松菜、ブロッコリー、カリフラワーなどで、ほとんどは化学肥料や農薬を減らした「Eco農産物」として、都に認証されています。

夏場は、お客様の数が凄いですよ。特に枝豆が人気です。朝4時に起きて収穫し、ボランティアさんに手伝ってもらい、枝豆を売るんです。採れたては、みずみずしくて甘く美味しいです。

僕は、農産物の安全・安心にこだわっています。ただ、安全・安心と言ってもわかりにくいので、近くGAP*の認証を取って、良い農業の取り組みをしていることをアピールします。

都市の農地はいろいろな使い方があり、皆さんに安らぎを与えている側面もあり

ます。うちの畑では、近隣の保育園児などが、いも掘りの収穫体験をやっていますが、子どもたちがキヤアキヤア言って笑顔になっているのを見ると、こっちまで楽しくなります。

僕は、農業を始めて10年近くになります。早くに父を亡くし、祖父が黙々と畑仕事に精を出しているのを見ていたものから、大学を出て早くこの家を支えたいと思って農業を始めました。

都市の農地のイメージとしては、畑が「交差点」のような役割で、いろいろな人が交わる場所になって欲しいです。そのためにも、地域の交流を大事にしていきたい—その担い手になれば、と思います。

※GAP…適正な農業を行うための世界的な規範や工程。農産物の安全性や環境への配慮、生産者の利益などを確保し、持続可能な農業を実践する取り組み。2020年の東京オリンピック・パラリンピックで食材調達の基準となる。



都市農業を支える生産者が大集合！

👑 年2回、夏野菜と秋野菜の品評会を行っています。



平成30年度 秋野菜品評会の様子

農業技術の向上と農産物の品質向上を図り、区の農産物を広く区民の皆さんに紹介するため、年2回、野菜品評会を行っています。審査は、専門家と募集した区民審査員が行い、優良農家が表彰されます。品評会終了後には、出品された新鮮な野菜の即売を行っています。



枝豆
やっぱり、採れたて、茹でたてが最高！地元野菜ならではの鮮度です。



人参
葉は根より栄養がいっぱいです。天ぷらやきんぴらにしてもおいしい！



小松菜
栄養の宝庫。濡らした新聞紙などにくるみ、袋に入れて冷蔵庫で保存すると長持ちします。お雑煮や浅漬けも美味！



即売会
目当ての方も大勢
来場しました。



■ 葛飾元気野菜ホームページ ▶ <http://genkiyasai.jp/>

葛飾元気野菜

🔍 検索

葛飾区 産業観光部 産業経済課 〈お問い合わせ〉 電話:03-3838-5554
〒125-0062 葛飾区青戸7-2-1 テクノプラザかつしか1F

このパンフレットは、印刷用の紙へリサイクルできます。